第59回 日本小児内分泌学会学術集会
スイーツセミナー2（SWS2）



日時 2026年11月6日（金）14：20～15：10（50分）

会場 第4会場（北九州国際会議場 2階 21会議室）
〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3-9-30

座長 田島 敏広 先生
（自治医科大学とちぎこども医療センター 小児科）

『週1回製剤をきっかけに考える SGA性低身長症のGH治療』

演者 森川 俊太郎 先生
（北海道大学大学院医学研究院 小児科学教室）

参加方法
スイーツセミナーはへのご参加には本学術集会への参加登録および事前申し込みが必要です。
詳しくは学会ホームページをご参照ください。

https://orbit-cs.net/jspe59/

共催：第59回 日本小児内分泌学会学術集会
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

『週1回製剤をきっかけに考える SGA性低身長症のGH治療』

森川 俊太郎 先生
（北海道大学大学院医学研究院 小児科学教室）

SGA性低身長症は、在胎週数に対して出生時の体重・身長が小さく、暦年齢2歳までにcatch-upしないという成長の表現型を特徴とする。その背景にある病態は多様であるが、成長ホルモン（GH）治療はSGA性低身長症の成人身長改善に有効であり、これまでにその有効性と安全性が広く報告されている。早期から適切なGH治療を継続することが良好な成長予後につながる一方で、長期間にわたる連日の注射は、患者・家族の治療負担やアドヒアランスの課題となり得る。ソマプシタンは週1回投与の長時間作用型GH製剤であり、SGA性低身長症を対象とした第2相試験（REAL 5）と第3相試験（REAL 8）では、1日1回投与のGH製剤と比較して同程度の成長促進効果と安全性が示されている。本講演では、SGA性低身長症の病態とGH治療の考え方を概説し、ソマプシタンの臨床試験成績を紹介する。さらに、治験に参加しソマプシタンを使用したSGA性低身長症の自験例を提示しながら、週1回GH製剤の臨床的位置づけと、長期的な有効性・安全性、治療継続などの課題について考察する。

共催：第59回 日本小児内分泌学会学術集会
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

JP26SOM00148　2026年9月作成